

Fontaine

発行日 2018年4月25日

発行 岸和田文化事業協会

〒596-0073 岸和田市岸城町5-10
岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Email: fontaine@sensyu.ne.jp

http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/

古地図を楽しもう!

城址保存会 副会長 行 龍 男
岸和田文化事業協会 会員



よく似ています。幕府の描画基準がそうだったのでしょうか、色々と想像を巡らし楽しんでいきます。この絵図には堀の幅や深さが記入されています。その寸法が実際とどれ位の差があるのか測ってみるのも楽しいですね。

みなさんのお宅に、古い色々な種類の地図がありますか？ ほとんどのお宅にはないでしょう。地図とか暦(カレンダー)等は新しいのが出ると、古いものは処分されるのが普通ですね。でも中には、保存している人がいるのです。50年前、100年前の地図となると現在と違ったものがよく見えてくるのです。なぜ違っているのだろうか考えるのが楽しいのです。まして江戸時代の古地図になると、私たちが考えも及ばない思考方法で表現されている場合があります。

私が楽しんでいる古地図に「和泉国岸和田城絵図」があります。正保2年(1645)幕府に提出と岸和田市史3巻に記載されていますが腑に落ちない箇所がいくつかあります。

寛文6年(1666)に移転になった岸城神社付近の8軒の百姓屋はどこにあったのだろう。全体的に道路とか堀が直線的すぎではないか。等々。

私たちの見ているのは、1645年に提出した絵図でなく、20数年後修正して提出したものではないでしょうか(元の絵図は1657年の火事で全焼)。描き方が他の城下絵図と雰囲気

古地図には色々なタイプのものであります。現在の住宅地図のような「江戸切絵図」街道の情報を詰め込んだ「道中図」日本や世界の形を表した「日本全図・世界図」その他「国絵図」「城絵図」「都市図」「村図」「論争図」等々。

復刻版ですが、6月に自泉会館で「古地図展」を開きます。また、講座も予定していますので、ぜひお誘いあわせの上ご来場ください。

◆ 古地図展

日時：平成30年6月20日(水)～24日(日)
午前10時～午後5時

会場：岸和田市立自泉会館展示室
入場料：無料

◆ 古地図展講座

日時：平成30年6月23日(土)
午後1時30分～午後3時

会場：岸和田市立自泉会館展示室

講師：行 龍男(城跡保存会 副会長)

入場料：無料(当日、資料代500円程度必要)
定員：30名(先着順)

申込方法：5月8日(火)午前10時～ 電話受付
(岸和田文化事業協会 ☎072-437-3801)



「明日死んでも悔いがないように。 毎日を自分らしく生きよう！」

これが私のモットーです。

幼い頃から色々なものに興味をもち、失敗しても叱られても、自分の好きな事は曲げずに貫く頑固者(こりない子)でした。ピアノ、水泳、アイススケート、エレクトーン、習字、絵画、体操、英語など、その道のプロに教わり、役者の基盤になりました。両親と恩師に感謝しています(自泉会館でピアノを弾いたこともあります)。

場所が変われば正しいとされることも違うし、自分の見られ方やポジション、評価も変わる事に幼いながらも驚きました。

新しいことにチャレンジする事が好きで、 人との出会いにもワクワクしていました。

出会いは人生のご褒美。地球上には約74億人がいるといわれている現代。宝くじよりもはるかに高確率での出会い。出会った瞬間にピーンときたら…もうこれは話さずにはいられません！

そんな時には自分の心の扉を全開にして、相手との対話をとことん楽しむ♪ 目の前の人は、もう二度と会えない人かもしれない。貴重な時間を大切に過ごしたいですね。

役を演じるには、そのキャラクターの生い立ちを想像し、モノの捉え方、気持ちの動き、考え癖などを深く掘り下げていかなければ成立しません。想像力が必要です。また、自分以外の生き物を演じるわけですから、日々の生活の中での観察が大きなヒントにもなります(人間に限らず、犬や電信柱の気持ちなんかも想像します)。

そして、「なぜ？」の探究。疑問に思ったことを納得がいくまで咀嚼し解釈を導き出します。出来事や行動に対して「気持ちの裏づけ、肉づけ」をしていきます。キャラクターの台詞を自分の心から生まれるリアルな感情をのせた言霊にしなければ、演じることが出来ません。生半可な役作りでは崩壊してしまいます。

その為にも、作品の世界の中で「生きる」ことが重要ですね。心を沿わせ、感じ、行動する。そこに自然と声ののって吹き替え「あてれこ」が完成します。

その上で「個性」も求められます。日本では「空気を読め！」などと注意される事も多いですが、海外では「もっと個性を出せ！」と叱られるそうです。

表現(演技やコミュニケーション)の教育が国語



や算数のように義務教育内で学べる時代が早くくればいいのにと願っています。同時に「心の教育」も必要ですね。ストレス社会と言われているのは、モノの豊かな現代の日本の「時代病」のように思います。

生きる為に食べものを探す時代は

目的がはっきりしていましたが、今は生きる意味を見いだす事が難しいと感じる人が増えていきます。人の気持ちを考えることは大切ですが、他者の価値観や評価に振り回されては、自分を見失ってしまいます。他者と異なる事を恐れずに、考え方の違いを受け入れ、コミュニケーションを楽しむ。認めあいながら答えや方向性を導き出すことが出来れば、生きやすい社会になるのではないかと感じています。

役者という道は私にとって「心」を 考える大きな切っ掛けになりました。

自分の為に出せる力は限られています。他者の幸せを願うこと。成功を喜ぶ事。自他理解を深めながら、自らの責任で決断し、自分らしく人生を歩んできたいですね。

野 潤子(しめのじゅんこ) (大橋 潤子)

1979年、大阪府岸和田市で生まれ。
朝陽小学校、野村中学校卒。
高校時代は九条の映画館「シネ・ヌーヴォ」にて字幕朗読のボランティアをし、吹き替えの虜になる。
岸和田市の講座「演劇にチャレンジ」に参加。市民劇団の公演にも出演。
岸和田TVアニメ「泉州昔ばなし」に出演。
短大を卒業後、幼稚園に勤務するも声優になる夢を叶えたく退職。ユニバーサルスタジオのジョーズでサメ退治をした後、上京。
東京では「SOUKI」にてパントマイムダンスを習い、舞台上に立ちながら、声優の養成所に通う。
(株)プロダクションに所属。デビューはアンパンマンのネコ美ちゃん。「ありがとうアンパンマン」が初めての台詞。
海外ドラマ「glee」、「おさるのジョージ2ゆかいな大冒険」、映画「一枚のめぐり逢い」、ポケットモンスターTVCM、「ダ・ヴィンチ・コード」オーディオブック、など多数出演。結婚後は2児の母となり「けんけんぱーく」にて読み聞かせの活動も始める。
その後、表現の楽しさを子ども達にも伝えたいと「8Dこども教室」を立ち上げ講師として活動。
メンタルケア心理士を取得。



めざせ！ 岸和田マイスター

【城下町編 I】

豊かな自然につつまれ、古くからの歴史、文化が継承されている岸和田市。その奥深さを再発見して、それらを多くの人に伝えましょう。岸和田市の魅力あふれる不思議の扉を、問題形式で出題する「めざせ！岸和田マイスター」。今回は「城下町編」です。

1 城下町のエリアとは？

- ① 下野町・北町・魚屋町・堺町・本町・南町
- ② 宮本町・北町・魚屋町・堺町・本町・五軒屋町
- ③ 並松町・北町・魚屋町・堺町・本町・南町

2 江戸時代（享保年間）の岸和田藩の人口は？

- ① 約30,000人
- ② 約60,000人
- ③ 約80,000人

3 岸和田城下の5町の中で最初に形成された町名は？

- ① 本町
- ② 堺町
- ③ 南町

4 紀州街道と呼ばれるのはどこからどこまでか？

- ① 和歌山～難波
- ② 和歌山～住之江
- ③ 和歌山～大阪高麗橋

5 紀州街道が通っている城下町の南北の距離は？

- ① 約1,700メートル
- ② 約1,500メートル
- ③ 約2,000メートル

6 現存する一里塚の碑がある場所は？

- ① 本町
- ② 南町
- ③ 堺町



7 紀州街道沿いの堺町付近にあった城門は何か？

- ① 北町門
- ② 南町門
- ③ 内町門

8 江戸時代紀州街道（岸和田城下）にかぎ型曲がり角は何カ所あったか？

- ① 3カ所
- ② 5カ所
- ③ 6カ所

9 江戸日本橋から欄干橋の距離についておおよそ正しいのはどれか？

- ① 約261里（約1,044km）
- ② 約141里（約564km）
- ③ 約231里（約924km）

10 欄干橋の下を流れていた川の名称は？

- ① 寺前川
- ② 鯨川（いながわ）
- ③ 魚の棚川



※解答は、7面に掲載しています。

岸和田から世界へ

第7回 自泉ジュニアコンサート



岸和田から世界に羽ばたく子どもたちを育てたい。そんな願いを込めて開催してきた自泉ジュニアコンサートは、今年で7回目。オーディションで選ばれた小学校2年生から高校2年生までの15名の子どもたちが、自泉会館のホールいっぱい、美しい演奏を響かせてくれました。ピアノ演奏11名、ヴァイオリン演奏3名、声楽1名での参加です。

客席は出演者のご家族やお友達、指導された先生方ではほぼ満席です。最前列には、審査員の2名の先生。ピリッとした緊張感がホールに満ちる中、コンサートは始まりました。

「こんな重圧の中で大丈夫なのか」との心配をよそに、誰もがなんて素晴らしい演奏だったことでしょう！

始まる前大きく息を吐き気持ちを整える姿は、すでにひとりの立派な演奏者でした。ここにたどり着くまでどれだけの練習を積んできたのか。そのため我慢したこといろいろあっただろうと、聴いていて胸がいっぱいになります。それぞれが奏でる音楽は、その背景をも想像させる澄んだきれいなものでした。

また、保護者の皆さんの一生懸命なサポートも心に残りました。子どものがんばりを支えようとする大人たち、大人の期待に応えようとする子どもたち。本人の努力はもちろん、周りの応援する力が人を大きく育てていくことを、目の当たりにした思いでした。

どの子にも賞をあげたい。そう願わずにいられない演奏の中から、最優秀賞1人、優秀賞2人がえられました。この3人は、マドカホールで開催される第11回フレッシュプレミアムコンサートへの出演資格が与えられました。さらに大きなホールでの演奏を経験し飛躍する姿をみせてくれることでしょう。

たくさんの体験は人を成長させます。文化事業協会が主催するコンサートがそのような場所のひとつになれば、そんな嬉しいことはありません。

「このコンサートが始まりでした」といつか聞かせてもらえるよう、これからも未来ある子どもたちを応援していきたいと心から願えるコンサートでした。

ここから大きく羽ばたいていく人たちが何人も何人も生まれてきますように。

(小末 元恵)



第7回自泉ジュニアコンサート受賞者

優秀賞	優秀賞	最優秀賞
平松 紗葉	西田 梨歩	野見 菜奈美
(小学2年生)	(小学2年生)	(高校1年生)

Cultural Hot Spot In Kishiwada

岸和田の文化ホット情報

書き続ける喜び 文章教室『えんぴつ』

クラブ生 阪森 由紀子

桜の開花だよりももたらされる季節を迎えると、『えんぴつ』では年一度の文集作りに取りかかるのが恒例となっていて今年度で35号となる。

『えんぴつ』は1983年“魅力的な文章の書き方”入門講座として、文学学校講師だった竹島昌威知先生しやういちを迎えて誕生したグループである。当時は働く女性も少なく公民館は主婦の花盛りと言われた時代だった。でも家庭に於いては手紙を書く以外文章を綴る機会は少なかった。

竹島先生は原稿用紙の書き方・句読点の打ち方に始まり、何よりも随筆とは「日常の出来事にも鋭敏な観察眼を持ち、批判精神で物ごとを見ることを養う訓練が大切である」と懇切丁寧にご指導を頂いた。翌年には早くも文集創刊号を発刊している。まだまだ未熟な文章ながら、校正・印刷・製本とみんなで工夫しながら慣れない事をやり遂げ、完成した冊子を手にして大感激したことを鮮明に覚えている。

1984年には社会教育の自習学習グループに参加。自習学習グループとは、昭和50年代初め生涯学習の機運が全国的に高まり、岸和田市でも市民からの要望で市の委託事業として始められた。そのような中でグループでは単に自己の文章の上達だけでとどまるのではなく、社会の動きにも視野を広げ、仲間意識を育みながら支え合う精神を養いつつ楽しく学ぶことをモットーにしてきた。月一度原稿を持ち寄り、先生と共に各々の文章を合評し合いながら、35年の歳月を積み重ねてきた。

一口に文章を書くと言っても、紀行文やコラム、演劇・映画などの感想文に仕上げる表現方法は様々である。自分の思ったこと感じたことを如何に的確に表現して読み手に伝えられるか、大変むずかしく奥深い。小さな原稿用紙の枠目に一字一句を埋めていく作業は地味で根気のいるひとときである。また市民の方々にも『えんぴつ』の存在を知って頂こう



と公開講座を催してグループ生と一緒に学びあったり、夏休み小学生に呼びかけ読書感想文の書き方を教えたりと、趣向を凝らしながら取り組み方法を考え実践してきた。

創刊号からの文集を改めて読み返してみると、それぞれがテーマごとにどのように捉えて表現してきたかと併せて自分がどのように生きてきたかが問われる一面も垣間見られるようで、興味深いものがある。

現在も文章教室『えんぴつ』として市立公民館分館（春木市民センター）で詩人として活躍され、文芸評論にもお忙しい倉橋健一先生に1991年からご指導を頂いている。

今日に至るまで5人の講師をお迎えしてきたが、それぞれに含蓄ある言葉でご指導を頂いた。優しさのある助言や厳しさのある言葉、視野の広さ豊かな知識に基づいたお話は受講生を魅了して楽しみでもあった。このように長く続けてこられたのも、歴代の講師に負うところが大きい。残念ながらすでに鬼籍に入られた先生や仲間も多く、淋しくてやりきれない虚しさを味わう出来事にも遭遇してきた。が、グループで学ぶ良さを存分に発揮して、周りの変化に屈せず学び続けてきた努力は頼もしいと思う。

高齢化は歪めないものの、励まし合いながらこれからも書き続けていきたい。



Ichigo-Ichien

【泉州検定を振り返って】

NPO りんくうフォーラム

井上 勇

NPOりんくうフォーラムでは、2008年より毎年（現在は春・秋の年2回）地元を紹介する泉州検定を実施してきました。昨年秋で20回となり、記念した本を発刊しようと考えています。

以前、北摂在住の方から「大和川を越えるとまだちょんまげを付けている」とからかわれたことがありました。北摂には大企業や大学が多く、大阪城と岸和田城の規模の違いや、産業・文化に格差があるのかという気もしますが、1970年大阪万博以前は泉州の方が堺の工業地帯や繊維産業の集積地で賑わっていたくらいです。1994年に関西国際空港が開港してからは、外国人観光客向けのホテルが空港周辺に建設されるなど泉州は変貌してきています。2011年には、岸和田が舞台のNHK朝ドラ「カーネーション」③が放映されました。

泉州検定は地元の国際交流行事で泉州を紹介する目的で開始した後、一般公開した試験となりました。当時は、京都検定に代表される「ご当地検定」ブームで全国に130以上のご当地検定がありましたが、現在は半分以下になっているようです。大阪商工会議所が主

催する大阪検定は泉州検定より後に出来て、当初は大阪検定と大阪府下の地域のご当地検定とが連携して互いに合格者に点数を付与していたこともありました。

泉州検定では泉州を堺市～泉南郡岬町までの9市4町としています。岸和田以南を泉州と呼ぶことも多いですが、泉州は奈良時代にあった和泉監(いずみげん)を中心とする和泉国でした。その中には大鳥郡、和泉郡、日根郡が含まれていました。

泉州検定は4択問題の形で出題されます。過去問題を紹介しますので、興味のある方はチャレンジしてみてください。答えは文中のどこかにあります。

問 岸和田出身のデザイナー コシノブランドで知られる小篠3姉妹の関係(姉→妹→妹の順)で、正しい番号を選びなさい。

(第2回出題)

- ① ジュンコ → ヒロコ → ミチコ
- ② ジュンコ → ミチコ → ヒロコ
- ③ ヒロコ → ジュンコ → ミチコ
- ④ ヒロコ → ミチコ → ジュンコ

【お稽古のススメ】

よしこ

小木曾 代史子

近ごろ「練習をすると少しは上達する」という当たり前のことが身をもって分かるようになりました。何十年も前の子ども時代は遊ぶのに忙しくて、習い事、特にピアノなどは練習もせず、その場しのぎで先生に叱られてばかり…。楽しくない、弾かない、下手なまま、の悪循環。それなのにいま真面目に練習しているのが、老後も楽しめる趣味を探して行きついた長唄三味線。運よく素敵な師匠にも巡り合えて会社帰りに習い始め、3年過ぎても飽き性の私が続いているのです！下手ながら何とか弾けた時の達成感がたまりません。文楽、歌舞伎や落語に行く機会も増え、ついには岸和田落語塾にまで参加して今年1月に自泉会館の高座に上がらせてもらいました。思ったより難しかったけど楽しい経験ができて、また世界がひとつ広がった感じです。

若いころから海外文化ばかり追いかけて、和の世界には無関心だったのですが、知らないまま人生を終え

ることがもったいなく感じています。生まれてずっと岸和田に居るのに、お城の近くに能楽堂があり、大阪府指定無形民俗文化財の葛城踊りが存在することも近年まで知らなかったのです。「人生は考えているよりも短い」(byカズオ・イシグロ氏)を実感するこのごろ。まだ知らない魅力的な文化に触れる機会をこれからも求め続けようと思います。



Event Report

アンケートからの抜粋

協会主催の事業にご来場いただき、有難うございました。
アンケートにご協力いただいた方の感想を紹介させていただきます。

新春邦楽コンサート “箏・尺八の響き”和洋融合パートⅡ

平成30年1月21日(日) 午後2時開演

入場者数 52名



〈皆さんの声〉

- ◆邦楽を聴くことは余りありませんでしたが、素晴らしい演奏でした。
- ◆箏も尺八も音色は良く知っているつもりでしたが、今更のように豊かで美しい音色に改めて魅了されました。
- ◆邦楽は日本人にとって耳慣れ、懐かしいというか頭にあるものと呼び起こしてくれそうで凄く良かったです。
- ◆久しぶりに古典の演奏会に接し日本文化の良さに心が安らぎました。
- ◆琉球民謡は楽しませていただきました。踊りたくなるようなリズムがいてですね。

第7回自泉ジュニアコンサート

平成30年2月25日(日) 午後2時開演

入場者数 109名



〈皆さんの声〉

- ◆小さな子ども達もレベルが高くとても感動しました。子どもは小さく、会場に段差がないので見えにくかった。ピアノなど指が見える位置に席があっても良いのでは。
 - ◆とてもステキな演奏でした。子ども達の未来の姿が楽しみです。
 - ◆音大の先生方の講評をいただいたのは本人にとっても為になります。
 - ◆会場の音の響きが心地良かったです。
- ※当日の様子等は、4面にも掲載しています。

3館合同事業 「きしわだ落語塾 自泉亭」

平成30年1月27日(土) 午後2時開演

入場者数 57名



〈皆さんの声〉

- ◆素人の人が短い期間の練習で話し方、間のとり方等なかなか上手に演じられたと思います。
- ◆初めて落語を聴きましたが、大変楽しくて落語が好きになりました。皆さん良かったです。
- ◆再演をお願いします。

第11回フレッシュプレミアムコンサート ～未来へここから～

平成30年3月17日(土) 午後5時開演

会場 マドカホール 入場者数 110名



〈皆さんの声〉

- ◆皆さんの演奏に感動、感激しました。今日までの発表にどれだけの練習を積まれてこられたか曲に対しての思い入れが伝わってきました。
- ◆どなたも素晴らしい力量のある方々の演奏を楽しませていただきました。ジュニアの方達の力量にも驚かされました。特別出演の原さんの素晴らしい演奏を聴かせていただいたのもうれしく思いました。
- ◆講評まで聞くことができ、審査員の方がどんなことを考え、聴いておられるかがよくわかり、勉強になりました。

【3面、「めざせ!岸和田マイスター」の解答】

1. ③ 並松町・北町・魚屋町・堺町・本町・南町
2. ② 約60,000人
3. ① 本町
4. ③ 和歌山～大阪高麗橋
5. ① 約1,700メートル
6. ① 本町
7. ③ 内町門(堺町、うお吉辺り)
8. ② 5カ所
9. ② 約141里 (約564km)
10. ③ 魚の棚川

2018年 今後の事業予定

※予定ですので変更になる場合があります。ご了承ください

4月27日	第53回自泉フレッシュコンサート	9月29日	筑前琵琶
5月26日	平成30年度 定時総会	10月13日	狂言
6月20日～24日	古地図展	10月26日	第55回自泉フレッシュコンサート
6月23日	古地図展 講座	11月23日	研修旅行(篠山町見学)
6月30日	第54回自泉フレッシュコンサート	12月15日	第56回自泉フレッシュコンサート
8月11日	中村友希乃ヴァイオリンコンサート	12月15日～16日	自泉クリスマス会 (展示・ワークショップ)
8月17日	第5回自泉 Re. フレッシュコンサート	12月16日	第2回自泉クリスマス会 (コンサート)

お願い

岸和田文化事業協会主催で、こんなコンサートや展示をしてみてはと思われる方は、どんどん事務所まで案をお聞かせください。

平成30年度 定時総会開催

平成30年度定時総会を下記の要領で開催します。

日 時：平成30年5月26日(土) 場 所：岸和田市立自泉会館
午後2時より
①平成29年度事業・決算報告
②30年度事業計画・予算案審議

第53回 自泉フレッシュコンサート

日 時：平成30年4月27日(土)
午後6時30分開演(30分前開場)
会 場：岸和田市立自泉会館ホール
出演者：土生 夏未(ソプラノ)
田口 菜穂(ピアノ)
入場料：一般前売1,200円(当日200円増)
会員前売1,000円(当日200円増)

第54回 自泉フレッシュコンサート

日 時：平成30年6月30日(土)
午後6時30分開演(30分前開場)
会 場：岸和田市立自泉会館ホール
出演者：中 まゆり(ピアノ)
森下 真衣(ピアノ)
入場料：一般前売1,200円(当日200円増)
会員前売1,000円(当日200円増)

吉地図展

日 時：平成30年6月20日(水)～24日(日)
午前10時～午後5時
会 場：岸和田市立自泉会館展示室
入場料：無 料

吉地図展 講座

日 時：平成30年6月23日(土)
午後1時30分～午後3時
会 場：岸和田市立自泉会館展示室
講 師：行 龍男(城址保存会 副会長)
参加費：無 料
【当日、資料代(500円程度)が必要です】
定 員：30名(先着順)
【申込方法】
5月8日(火)午前10時より電話にてお受けいたします
(岸和田文化事業協会 ☎072-437-3801)

文化情報

「第69回岸和田市市展」への出品を募集いたします

自作未発表のものに限ります

資 格 平成15年4月1日以前に生まれた人
出品料 500円
搬入場所 マドカホール 展示場(荒木町1丁目)

会期	部門	体裁	出品数	搬入日時
第1期	洋画	額装(ガラス不可)	1人1点	5月8日(火)・9日(水) 午後1時～7時 展示期間 5/13日～20日
第2期	染織	額装・屏風・着物・タペストリー・オブジェ等	1人2点以内	5月22日(火)・23日(水) 午後1時～7時 展示期間 5/27日～6/3日
	陶芸	血立て等・装飾的付属品不可	1人2点以内	
第3期	書	額装・軸装・裱装・衝立・屏風・帖・巻物・刻字・篆刻	1人1点	6月5日(火)・6日(水) 午後1時～7時 展示期間 6/10日～17日
	日本画	額装(ガラス・アクリル不可)	1人1点	
第4期	写真	パネル張り・額装(ガラス・アクリル不可)	1人1点	6月19日(火)・20日(水) 午後1時～7時 展示期間 6/24日～7/1日
	俳画	額装・軸装	1人2点以内	

※作品の額縁などにはつり下げ用のひもを必ず付けてください。

詳しくはマドカホールにて配布中の募集要領をご覧ください。

問合せ先：マドカホール 電話：443-3800 月曜日休館

■お問い合わせ 岸和田文化事業協会事務局まで

TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

平成30年度(平成30年4月～平成31年3月)

会員募集

年会費 個人会員(1口) 2,000円 団体会員(1口) 5,000円
(入会費不要) 家族会員(1口) 1,000円 法人会員(1口) 10,000円
(個人会員の同居家族) 特別会員(1口) 50,000円

入会方法 協会事務局(自泉会館)で直接受付致します。

郵便振込の場合は

口座番号 00970-9-28145

加入者名 岸和田文化事業協会

詳しくは、岸和田文化事業協会事務局まで

TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

お知らせ

会員の方は文化情報を掲載することができます。掲載希望の方は事務局までお越しいただき用紙にご記入ください。多数希望の方がいらっしゃる場合や当協会主催の事業がたくさんある場合はご希望に添えないこともあります。ご了承ください。

nouvelle
Fontaine

◆事務局

〒596-0073

岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

◆編集委員

小島栄子・黒木幸子

小末元恵・堀野和人

vol.59

発行：岸和田文化事業協会

発行日：2018年4月25日

編集後記...

春はあけぼのだそうです。私が思い出す春は中学校の5時限目。柔らかな日差し。音楽室からリコーダーの調べ。先生の声は子守歌。懐かしいなあ。あなたの春はどんなですか。(小末)

<http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/>

岸和田文化事業協会

検索

